

平成27年9月24日

各部局等の長 殿

高浜市長 吉岡 初 浩

平成28年度（2016年度）予算編成について

本市の財政状況は、リーマンショック影響後の低迷期を脱し、回復基調を続けているが、いまだリーマンショック影響前の状況まで回復していない。

例えば、「市税収入」について言えば、平成26年度決算において約87億5千万円となり、平成25年度決算額と比較して約4億円の増加となっているが、リーマンショック影響前の約89億円には達していない。

そして、「財政調整基金」については、平成26年度末残高が約13億4千万円となり、リーマンショック影響前の約20億円に及ばず、標準財政規模に占める割合は、県内市平均（名古屋市を除く。）を下回っている。

また、今後の重要な政策課題である「公共施設のあり方」に目を向けると、平成27年度策定の「公共施設等総合管理計画」を反映した「長期財政計画」を作成することとしているが、これまで明らかになっていなかったインフラ資産の更新費用を上乗せするため、さらに厳しい試算となる見込みである。

そのため、「公共施設等整備基金」は計画的に積み立てているものの、財政調整基金を含めた基金残高の確保は、重要課題となっている。

このような状況を踏まえ、平成28年度予算編成においては、平成27年度予算編成で位置づけた「厳しい将来に向かうスタート予算」を引き続き継承し、将来を見据え堅実な財政運営を目指すこととする。

最後に、平成26年6月に策定した中期基本計画に係る「財政計画」ではいくつかの目標値を設定しているが、平成26年度決算ではいずれも目標値を達成している。この厳しい財政状況の中で目標を達成できたのは、景気回復が主要因であることはもちろんのことだが、これまで職員一人ひとりが「厳しい財政状況」を理解した上で、予算編成及び予算執行にあたってきたことも要因の一つと考えられる。この職員一人ひとりの努力をこれからも継続して、予算編成に臨まなければならない。

1 平成28年度予算編成の考え方

平成28年度の予算編成では、昨年度予算編成方針において掲げた『**厳しい将来に向かうスタート予算**』を継承し、堅実な財政運営を目指すため、次のとおり3つの基本的な考え方を掲げることとする。

(1) 中期基本計画の着実な実施

平成28年度に計画期間の折り返しを迎える「中期基本計画」については、目標達成に向けた行動計画である「アクションプラン」の実施に必要な予算を計上し、着実に進める。

(2) 「事業目標値の実績確認」及び「既存事業費の見直しの推進」

平成27年度に予算計上した新規事業及び拡充事業については、昨年の予算編成時に設定した目標値に対する実績見込みを確認した上で、平成28年度予算において必要な措置を講ずるとともに、既存事業費の見直しを推進する。

(3) 重点施策への財源配分

限られた貴重な財源を有効に活用するため、予算編成会議による協議の結果等を踏まえ、昨年度に引き続き緊急度・優先度が高い施策や市民にとって真に必要な施策に重点を置いた予算配分を行う。

2 重点施策

平成28年度の予算編成における重点施策は、第6次高浜市総合計画の基本計画の体系に基づき、次のとおりとする。

I. みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

◇まちづくり

- ・公共施設等総合管理計画の推進につながる事業

II. 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

◇こども・教育

- ・保育サービス・子育て子育て支援の充実につながる事業
- ・まちの魅力を発信し、まちへの愛着や誇りにつながる事業

III. 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

◇産業・防災

- ・企業誘致・企業支援につながる事業
- ・防災・減災につながる事業

IV. いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

◇福祉・健康

- ・地域の「つながり・支え合い」につながる事業
- ・「健康づくり」をはじめとした「生涯現役のまちづくり」の推進につながる事業